



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2026年2月12日

上場会社名 ぴあ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4337 URL <https://corporate.pia.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 矢内 廣
問合せ先責任者 （役職名） 専務取締役コーポレート担当 （氏名） 吉澤 保幸 TEL 03-5774-5278
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無 ：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	39,495	23.7	3,941	147.9	4,021	186.8	2,534	163.1
2025年3月期第3四半期	31,926	11.1	1,589	61.2	1,402	49.1	963	35.5

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 2,528百万円（169.8％） 2025年3月期第3四半期 937百万円（29.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	165.35	—
2025年3月期第3四半期	63.00	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	102,571	9,842	9.6
2025年3月期	102,150	7,239	7.1

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 9,839百万円 2025年3月期 7,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	50,000	10.2	4,200	59.3	4,200	76.6	2,700	69.7	176.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名)ぴあライブクリエイティブ株式会社、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、決算短信(添付資料)8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	15,656,713株	2025年3月期	15,656,713株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	321,824株	2025年3月期	343,336株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	15,326,006株	2025年3月期3Q	15,291,686株

(注) 株主資本において自己株式として計上されている株式給付信託(BBT及びBBT-RS)が保有する当社株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業業績の回復を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価高騰の長期化等により個人消費の持ち直しに鈍さがみられ、また、海外経済の不確実性や金融政策・為替動向等、先行き不透明な状況が継続しております。その中にあって、当社が事業基盤とする国内レジャー・集客エンタテインメント市場は、大阪・関西万博や東京2025世界陸上の開催、大規模会場・大型興行の増加等に牽引され、引き続き極めて好況に推移いたしました。

こうした経営環境下、中期経営計画(2023～2025年度)の最終年度となる当第3四半期連結累計期間においては、大阪・関西万博や東京2025世界陸上の成功に伴う周辺事業の拡大、当社主催・企画・運営イベントの増加に加え、主力事業である来日アーティストや人気グループの大規模公演、音楽フェス、プロスポーツ、ミュージカル、レジャー等のチケット販売が好調に推移した結果、取扱高ベースでの売上は2,200億円を超える過去最高の水準となりました。また一昨年、16年ぶりに一部改定したチケットびあサービス利用料によるコスト構造の改善もあり、約7%の給与アップを含めた人的資本投資、新規事業への開発投資、システム改修・セキュリティ強化等の各種投資コストを吸収し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のすべてにおいて前期実績を大幅に上回り、中期経営計画の目標達成に向け順調に進捗いたしました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高394億95百万円(対前年同期比123.7%)、営業利益39億41百万円(対前年同期比247.9%)、経常利益40億21百万円(対前年同期比286.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益25億34百万円(対前年同期比263.1%)となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

<イベント(主催事業含む)>

- ・大阪・関西万博
- ・プロ野球公式戦／サッカーJリーグ／大相撲
- ・神宮外苑花火大会
- ・東京2025世界陸上
- ・びあフェス(PIA MUSIC COMPLEX)
- ・ONE OK ROCK／Mrs. GREEN APPLE／Vaundy
- ・UVERworld／福山雅治／B'z
- ・ZEROBASEONE／小泉今日子／松任谷由実
- ・LADY GAGA／Travis Scott／Billie Eilish
- ・Stray Kids／NiziU／ATEEZ
- ・ROCK IN JAPAN FESTIVAL／Animelo Summer Live 2025／WILD BUNCH FEST.
- ・ミュージカル「レ・ミゼラブル」ワールドツアースペクタキュラー
- ・初音ミク「マジカルミライ」
- ・劇団☆新感線
- ・おかあさんといっしょスペシャルステージ

<メディア商品>

- ・「大阪・関西万博びあ(第一弾)」
- ・「大阪・関西万博びあ(完全攻略編)」
- ・「大阪・関西万博写真集」
- ・大谷翔平語録「不可能を可能にする大谷翔平120の思考」
- ・「森のカフェと緑のレストラン」シリーズ
- ・「HYDE写真集」

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、1,025億71百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億21百万円増加いたしました。流動資産は801億56百万円(前連結会計年度末比4億93百万円増)となりました。また、固定資産は224億15百万円(前連結会計年度末比71百万円減)となりました。変動の主なものは、有形固定資産の減少(同4億68百万円減)と無形固定資産の増加(同4億53百万円増)であります。

負債は、927億29百万円となり、前連結会計年度末と比較して21億81百万円減少いたしました。流動負債は749億7百万円(前連結会計年度末比13億57百万円減)となりました。変動の主なものは、買掛金の減少(同64億21百万円)であります。固定負債は178億21百万円(前連結会計年度末比8億24百万円減)となりました。変動の主なものは、長期借入金の減少(同7億69百万円)であります。

純資産は、98億42百万円となり、前連結会計年度末と比較して26億3百万円増加いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が25億34百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想につきましては、冬季五輪、WBCの開催による国内影響や、大規模公演の発売タイミングが不透明であること、ならびに次世代に向けたシステムの開発コストの増加が見込まれること等、現時点で第4四半期の見通しが不確定であるため、2025年11月13日に公表しました予想数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,301	45,270
売掛金	27,774	25,515
棚卸資産	119	78
その他	5,496	9,320
貸倒引当金	△28	△28
流動資産合計	79,662	80,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,317	9,850
工具、器具及び備品（純額）	534	464
土地	724	724
その他（純額）	57	125
有形固定資産合計	11,634	11,166
無形固定資産		
ソフトウェア	4,601	3,804
ソフトウェア仮勘定	1,311	2,461
その他	38	138
無形固定資産合計	5,951	6,404
投資その他の資産		
投資有価証券	1,125	1,209
その他	4,156	4,119
貸倒引当金	△380	△484
投資その他の資産合計	4,901	4,844
固定資産合計	22,487	22,415
資産合計	102,150	102,571

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	60,204	53,782
1年内返済予定の長期借入金	1,018	1,025
未払金	5,156	3,245
未払法人税等	421	1,394
賞与引当金	581	628
その他	8,883	14,831
流動負債合計	76,265	74,907
固定負債		
長期借入金	16,601	15,832
株式給付引当金	358	289
退職給付に係る負債	88	87
資産除去債務	1,320	1,340
その他	276	271
固定負債合計	18,645	17,821
負債合計	94,910	92,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,468	6,468
資本剰余金	2,634	2,632
利益剰余金	△874	1,659
自己株式	△987	△910
株主資本合計	7,240	9,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	9
為替換算調整勘定	△21	△24
退職給付に係る調整累計額	11	4
その他の包括利益累計額合計	△5	△10
非支配株主持分	3	3
純資産合計	7,239	9,842
負債純資産合計	102,150	102,571

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	31,926	39,495
売上原価	20,391	23,230
売上総利益	11,534	16,265
販売費及び一般管理費	9,945	12,324
営業利益	1,589	3,941
営業外収益		
受取利息	1	19
受取配当金	8	7
諸債務整理益	20	188
持分法による投資利益	42	82
助成金収入	93	87
その他	19	2
営業外収益合計	186	388
営業外費用		
支払利息	199	248
支払補償費	157	42
その他	17	17
営業外費用合計	373	308
経常利益	1,402	4,021
特別損失		
投資有価証券評価損	336	—
特別損失合計	336	—
税金等調整前四半期純利益	1,065	4,021
法人税等	102	1,487
四半期純利益	963	2,534
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	963	2,534

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	963	2,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	5
退職給付に係る調整額	△2	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△3
その他の包括利益合計	△25	△5
四半期包括利益	937	2,528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	937	2,528
非支配株主に係る四半期包括利益	—	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

当社の四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略を適用）に準拠して作成しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

当社グループの報告セグメントは、「レジャー・エンタテインメント関連事業」を主要な事業としており、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

当社グループの報告セグメントは、「レジャー・エンタテインメント関連事業」を主要な事業としており、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,988百万円	1,865百万円